

県営土地改良事業 前谷津池地区

緊急防災工事計画書

(農業用排水施設)

埼玉県

目		次		
第1章	目 的	1	1 計画基準年	16
第2章	地域及び地積	1	2 計画かんがい方式	16
第1節	地 域	1	3 計画用水系統	16
第2節	地 積	1	4 計画用水量	16
第3章	現 況	2	5 水源計画	16
第1節	気象及び海象	2	第4節 排水計画	18
1	一般気象	2	第5節 道路計画	18
2	特殊気象	2	第6節 農用地造成計画	18
第2節	土地状況	3	第7節 洪水調節計画	18
1	地形、土壌及び侵食の程度	3	第8節 干拓計画	18
2	土地分類	4	第9節 農用地整備計画	18
3	土地利用の状況	4	第10節 ため池改修計画	19
4	土地所有の状況	5	1 堤体補強計画	19
第3節	水利状況	6	2 取水施設改修計画	19
1	用水状況	6	3 洪水吐改修計画	19
2	排水状況	9	4 管理施設改修計画	20
3	河川状況	9	第5章 主要工事計画	21
第4節	道路概況	9	第1節 用水施設	21
第5節	地域農業の概況	10	第2節 排水施設	21
1	産業別就業人口	10	第3節 道路及び索道	21
2	経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに 専兼業別農家数	10	第4節 農用地造成	21
3	動力農機具及び主要家畜頭数	10	第5節 洪水調節施設	21
4	主要作物作付状況	11	第6節 干拓施設	21
5	農業の動向	12	第7節 農用地整備施設	21
第6節	地域環境の概況	13	第8節 ため池改修施設	22
1	環境に関する地区の概要	13	1 貯水池	22
2	環境に関する基本的な考え方	13	2 堤体補強施設	22
3	自然環境及び社会環境	13	第6章 附帯工事計画	23
第4章	一般計画	14	第7章 工事の着手及び完了の予定時期	23
第1節	事業計画の要旨	14	第8章 環境との調和への配慮	24
1	要 旨	14	第1節 環境配慮する地域の状況	24
2	事業別面積	14	1 広域的な環境特性	24
第2節	営農計画及び土地利用計画	15	2 地域の状況	24
1	営農計画の概要	15	第2節 環境配慮目標及び基本的な考え方	24
2	土地利用区分	15	第3節 環境配慮の整備内容	24
3	作付方式	15	第9章 換地計画の概要	24
4	生産計画	15	第10章 事業費の総額及び内訳	25
5	労働改善計画	15	第11章 効 用	26
第3節	用水計画	16	第12章 関連する事業	26
			第13章 現況・計画図面	26

第1章 目的

本地区は大里郡寄居町の中北部に位置し、荒川左岸に位置する農業用ため池である。かんがい受益面積は22.1 ha（水田）で、受益地は寄居町大字用土地内である。

前谷津池は、地震により損壊の恐れがあると判定されており、損壊した場合には周辺地域に甚大な被害が想定される農業用ため池であるため、防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法における「防災重点農業用ため池」に指定されている。

築造年代は明治時代で詳細は不明である。平成15年に改修を行っているが、東日本大震災を受けて行われたため池耐震点検調査の結果、堤体の安定計算で所定の安全率を満足しないことが判明した。

そのため、地震対策を実施することにより、農業生産の維持、農業経営の安定及び地域住民の暮らしの安全確保を図り、もって災害に強い農村づくりを推進する必要がある。

第2章 地域及び地積

第1節 地域

(第1表)

事業名	地 域
農村地域防災減災事業 (防災重点農業用ため池 緊急整備事業)	大里郡寄居町大字用土地内

第2節 地 積

(令和7年9月現在) (第2表)

事業名	現況地目		田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
	市町村名								
農村地域防災減災事業 (防災重点農業用ため池 緊急整備事業)	寄居町		22.1	—	—	—	—	22.1	

第3章 現 況
第1節 気象及び海象
1. 一般気象

(第3表)

観測所名	熊谷气象台	かんがい期間(214日)	非かんがい期間(151日)	計又は平均	備 考
観測期間	昭和元年～令和5年	4月～10月	11月～3月		
平均気温 (°C)		19.5 °C	5.8 °C	12.7 °C	
降水量	平均 (mm)	1,036.8 mm	215.9 mm	1,252.7 mm	
降水日数	平均 (日)	89.8 日	29.7 日	119.5 日	
根 雪 期 間		—			
無 霜 期 間		—			
最 多 風 向		WNW	最大風速 (風向)	22.8 m/s (WNW)	最多風向発生時期 通年 最大風速発生年月日 昭和41年9月25日

2. 特殊気象

(第4表)

観測所名 熊谷气象台	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備 考
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
観測期間 昭和元年～令和6年																
最大日雨量 (mm)	301.5	S57.9.12	1/62	292.4	S22.9.15	1/54	277.2	S33.9.26	1/42	267.1	S41.6.28	1/36	255.1	S16.7.22	1/29	
最大時間雨量 (mm)	88.5	S18.9.3	1/62	85.0	S51.6.15	1/47	84.6	S2.7.31	1/46	76.0	H7.8.22	1/24	75.8	S30.7.22	1/23	
最大4時間雨量 (mm)	174.5	S57.9.12	1/567	128.2	S22.9.15	1/44	118.0	S18.9.3	1/25	115.0	H29.10.23	1/22	114.0	S51.6.15	1/21	
最大2日連続雨量 (mm)	350.0	S57.9.11～12	1/82	339.8	S22.9.14～15	1/69	306.3	S33.9.25～26	1/39	279.6	S16.7/21～22	1/25	268.1	S41.6.27～28	1/20	
最大連続干天日数 (日)	135.0	S18.10.21 ～S19.3.4	1/825	109.0	H15.12.1 ～H16.3.19	1/146	100.0	S15.12.1 ～S16.3.11	1/79	89.0	H7.11.20 ～H8.2.17	1/37	87.0	S3.12.4 ～S4.3.1	1/32	

第2節 土地状況

1 地形、土壌及び侵食の程度

(第5表)

地目	田						畑								受益地標高 (TP+m)		備考	
	1/1000 以下	1/1000 ~1/500	1/500~ 1/300	1/300~ 1/100	1/100 以上	計	3° 以下	3° ~8°	8°~15°			15° ~20°	20° 以上	計	最高	最低		
面積 (ha)	-	-	-	22.1	-	22.1	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0	87.4	76.0	前谷津池受益
比率 (%)	-	-	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0	-	-	

(第6表)

項目 土壌統(区)名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表										面 積 (ha)			備考
	土 壤 断 面								堆積様式	母材	事 業 名			
	色	腐植	礫層	酸化沈殿物	土 性			泥炭層 黒泥層及び グライ層			農村地域 防災減災	計		
					表土 一層	下層土 二層	三層							
大仏1統	YR	あり	あり	なし	腐食含 む壤土	腐食含 む壤土	腐食含 む壤土	-	沖積	第三紀層 泥岩	-	-	-	前谷津池
櫛挽統	YR	あり	なし	なし	腐食に 富む壤土	腐食含 む壤土	壤土	-	風積	火山灰	-	-	-	受益地

土地分類基本調査 寄居 (1964)

2. 土地分類(農用地造成の場合のみ記入)

該当なし

3. 土地利用の状況

(令和7年9月現在) (第7表)

事業名	土地利用別 市町村別	耕地						山林		採草 放牧地 (ha)	原野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他 樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
農村地域防災減災事業 (防災重点農業用ため 池緊急整備事業)	寄居町	22.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	22.1	農地台帳
合計		22.1											22.1	

4. 土地所有の状況

(令和7年9月現在) (第8表)

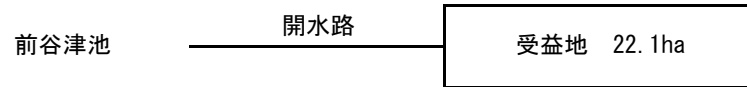
事業名	所有別	個人所有	町所有	国所有	その他	計	備考
	区分						
農村地域防災減災事業 (防災重点農業用ため池 緊急整備事業)	面積 (ha)	22.1	—	—	—	22.1	農地台帳
	受益者数 (人)	82	—	—	—	82	
	筆数 (筆)	151	—	—	—	151	
	権利関係	所有権	—	—	—	—	
	備考 (関係戸数)	82	—	—	—	82	

第3節 水利状況

1. 用水状況

当ため池より自然流下にて、開水路で用水を供給している。

(1) 用水系統



(2) 用水施設

(7) 取水方法一覧表

(第9表)

項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権 (地下水)		延べ取水量 m3/s	備考
	500 ha以上		500~ 100ha		100 ha未満		箇所	ha	箇所	m3/s	箇所	m3/s		
貯水池	-	-	-	-	1	22.1	1	22.1	-	-	-	-	0.171	
井堰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
自然取入口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
揚水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計	-	-	-	-	1	22.1	1	22.1	-	-	-	-	0.171	

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第10表)

項目 施設名	施設名又は箇所数 (箇所)	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は 更新年月日	改修を必要とする理由	備考
貯水池	前谷津池	22.1	均一型	堤高 10.01m 堤長 198.0m	最終更新 平成15年	地震・豪雨時に堤体の決壊が予想される。	管理者 北武蔵用水土地 改良区
井堰	—	—	—	—	—	—	
自然取入口	—	—	—	—	—	—	
揚水機	—	—	—	—	—	—	
用水路	—	—	—	—	—	—	
その他	—	—	—	—	—	—	
計		22.1					

(3) 用水に関する被害状況 該当なし

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

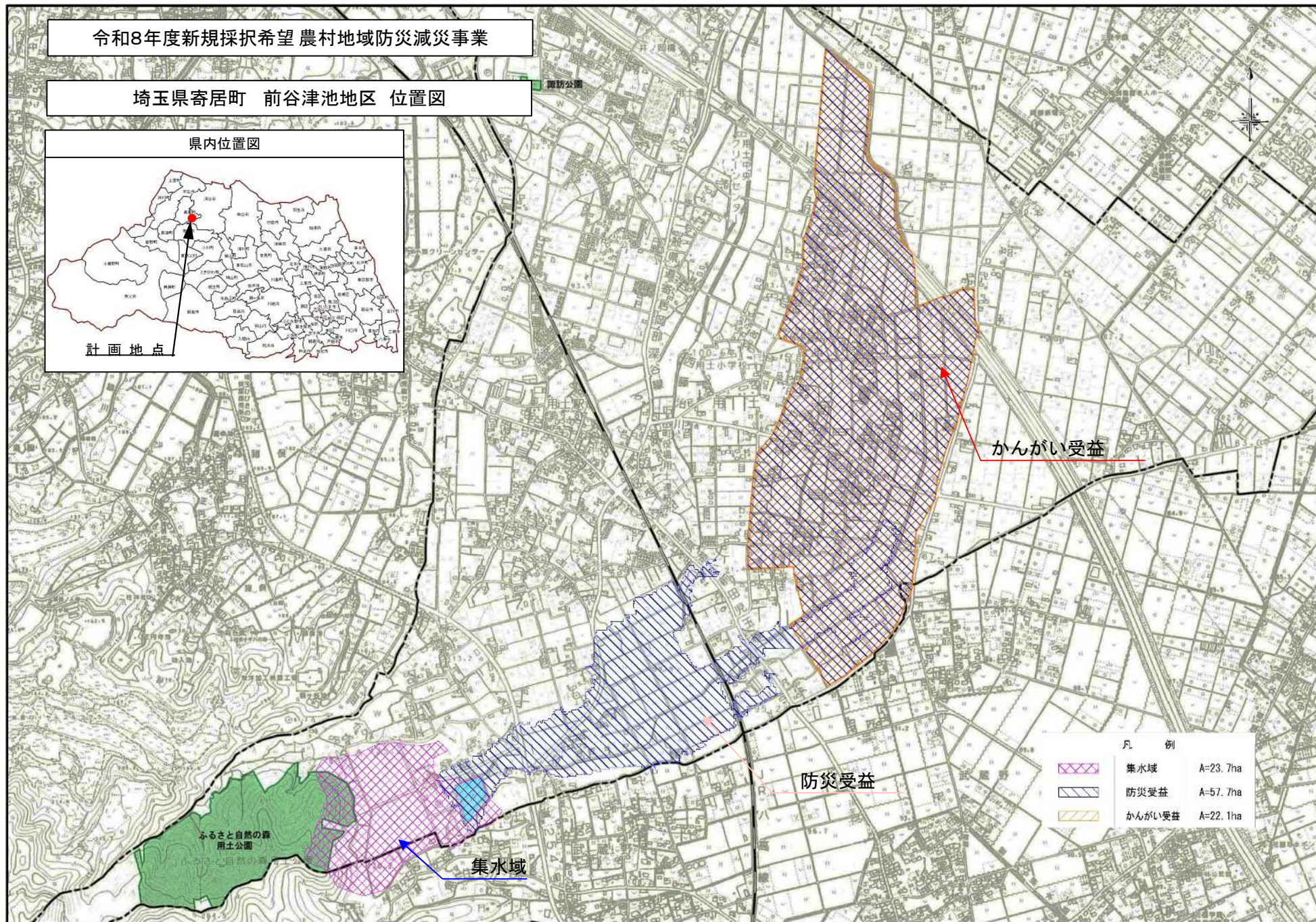
(第11表)

想定被害面積 (ha)				想定被害額 (千円)						備考
水田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計	
37.5	11.0	9.2	57.7	33,259	62,640	817,022	35,043	144,575	1,092,539	

令和8年度新規採択希望 農村地域防災減災事業

埼玉県寄居町 前谷津池地区 位置図

県内位置図



2. 排水状況

(1) 排水系統

前谷津池 → 藤治川

(2) 排水施設

(7) 排水方法一覧表 省略

3. 河川状況

(1) 河川状況 省略

第4節 道路概況 省略

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

単位：人（第12表）

項目 市町村名	総数	農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気ガス 熱供給水道業	運輸 通信業	卸売 小売 業 飲食店	金融 保険業	不動産業	サービス業	公務	その他	備考
寄居町	16,061	650	4	0	23	1,014	3,997	64	1,169	2,155	171	189	5,556	434	486	
計	16,061	650	4	0	23	1,014	3,997	64	1,169	2,155	171	189	5,556	434	486	
比率 (%)	100.0	4.0	0.0	0.0	0.2	6.3	24.9	0.4	7.3	13.4	1.1	1.2	34.6	2.7	3.0	

（令和2年国勢調査 就業状態等基本集計：埼玉県）

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専業別農家数

（第13表）

区分 市町村名	農家 総戸数 (戸)	経営耕地広狭別農家数(戸)							1戸当平均農用地面積 (ha)					耕地の分散 状況		専業別農家数(戸)		備考		
		例外規定の適用を受けるもの	0.5ha	0.5	1.0	2.0	3.0	5.0	田	畑	樹園地	小計	草地	計	1団 戸地 当数	団面 地積 当ha	専業		兼業	
			未 満	1.0	2.0	3.0	5.0	第1種											第2種	
寄居町	333	6	75	126	80	17	13	16	0.8	0.4	0.3	1.5	-	1.5	-	-	-	-	-	
計	333	6	75	126	80	17	13	16	0.8	0.4	0.3	1.5	-	1.5						
比率 (%)	100.0	1.8	22.5	37.8	24.0	5.1	3.9	4.8	53	27	20	100	-	100						

（2020農林業センサス）

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

（第14表）

項目 市町村名	動力農機具 (台, 戸)								主要家畜 (頭, 戸)								備考
	トラクタ		防除機		コンバイン		田植機		乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏		
	数量	戸数	数量	戸数	数量	戸数	数量	戸数	数量	戸数	数量	戸数	数量	戸数	数量	戸数	
寄居町	372	319	-	-	91	89	170	163	998	11	-	-	15,850	4	531,150	5	
計	372	319	-	-	91	89	170	163	998	11	-	-	15,850	4	531,150	5	
100戸当数量 (台, 頭)	117		-		102		104		9,073		-		396,250		10,623,000		
利用戸数の割合 (%)		96		-		27		49		3		-		1		2	

（2020・2015農林業センサス）

※ 2020農林業センサスから動力農機具の記載がなくなったため、動力農機具については2015農林業センサスの数値を採用している。

4. 主要作物作付状況

(第15表)

市町村名		寄居町		作付率	備考
総本地面積		1,231			
総耕地面積		1,230			
作物名	区分	作付面積 (ha)	単収 (kg/10a)		
水稻		119	422	10.0%	農林水産関係市町村別統計 令和6年度
小麦		36	436	3.0%	〃
ねぎ		2	2380	0.2%	農林業センサス2020、農林水産関係都道府県別統計 令和5年度
きゅうり		18	8000	1.0%	〃
ブロッコリー		6	1260	0.5%	〃
キャベツ		5	4120	0.4%	〃
ぶどう		1	873	0.1%	〃
市町村延作付率(%)		-		15.2%	

5. 農業の動向 寄居町全体

(第16表)

項目 区分	農家数(戸)			土地利用(ha)			主要作物(ha)			大家畜(頭)			動力農機具(台)			地域 指定等	備考				
	C H22	B H27	A R2	C H22	B H27	A R2	C H22	B H27	A R2	C H22	B H27	A R2	農機 具名	C H22	B H27			A R2			
変化の 状況	総農家数	516	407	334	耕地	609	503	1,221	水稲	164	149	130	乳用牛	-	1,124	998	トラクター	478	372	-	A：令和2年 (2020 農林業センサス) B：平成27年 (2015 農林業センサス) C：平成22年 (2010 農林業センサス)
	専業 農家数	141	149	-	田	159	133	128	小麦	46	32	37	肉用牛	-	-	-	田植機	235	170	-	
	第1種兼 業農家数	69	43	-	畑	394	339	1,078	そば	3	2	2	豚	-	15,810	15,850	自脱型 コンバイン	122	91	-	
	第2種兼 業農家数	306	215	-	樹園地	56	31	15	大豆	3	1	2	採卵鶏	-	180,920	531,150	防除機	-	-	-	
	農業従 事者数	841	673	550	-	-	-	-	きゅうり	-	2	18	-	-	-	-	-	-	-	-	
変化の 理由	社会経済の変化に伴う総農家数の減			宅地転用等による耕地の増減			作付転換等による水稲の減 作付転換等による小麦、大豆、きゅうりの増			畜産農家数の減に伴う乳用牛の減の一方、畜産農家数の増に伴う採卵鶏の増			農家数の減に伴う動力農機具の減								

2010, 2015, 2020年農業センサス 県統計書より

※1 2020農林業センサスから専業農家数、第1種兼業農家数、第2種兼業農家数、動力農機具の記載がなくなったため「-」と記載している。

第6節 地域環境の概況

1 環境に関する地区の概要

荒川沿いの水田、畑地帯である。前谷津池上流には円良田湖が位置するなど緑豊かであり、豊かな自然環境に恵まれている。

2 環境に関する基本的な考え方

本地区は、寄居町田園環境整備マスタープラン（令和7年改訂）において、「環境配慮区域」に位置付けられており、環境に配慮した土地改良施設整備が必要とされている。

3 自然環境及び社会環境

(ア) 自然環境

(第17表)

項目	概要
気候	晴天日数が多く、降水量が1,100mm/年程度と比較的少ない。また、年間平均気温は約14℃前後であり、県内でも比較的低い。
地形	秩父山地と関東平野との接点に位置することから、南西部に山地、北東部に平野及びその中間地点に丘陵地が広がっている。
地質	南西部の山地は硬い先第四系の岩石、北東部の平野は未固結の第四系堆積物によって占められている。
水環境	荒川及び荒川水系に属する河川その他、利根川水系に属する藤治川など多数の川が貫流している。また、円良田湖をはじめとしたため池が約70存在している。
動植物	ゴヨウツツジ、ミミカキグサ等、県の天然記念物に指定された植生群がある。また、埼玉県動物誌に示された種の約46%が生息しており、豊富な自然環境が存在している。
景観	荒川と秩父山地に代表される自然景観その他、歴史のある社寺、社寺林など文化的景観が存在する。

(イ) 社会環境

(第18表)

項目	寄居町			
観光資源	長瀬玉淀自然公園			
歴史・文化	鉢形城跡			

(ウ) その他

(第19表)

項目				

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要旨

前谷津池に流入する用水等はなく、ため池の取水源は降雨及び集水域からの流入水であり、これを貯留しかんがい用水として利用している。耐震診断を実施した結果、堤体の安全率が上下流とも基準に満たなかった。下流域には農地、道路の他、宅地が存在するため、決壊した場合には甚大な被害をもたらすことが想定される。

このため、ため池の耐震化対策等を実施することにより、農業生産の維持、農業経営の安定及び地域住民の暮らしの安全を図り、もって災害に強い農村づくりを推進する。

2. 事業別面積

(第20表)

土地利用区分 事業目的	水田 (ha)	輪換耕地 (ha)	普通畑 (ha)	樹園地 (畑) (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
農村地域防災減災事業 (防災重点農業用ため池緊急整備事業)	22.1	—	—	—	—	22.1	農地台帳
計	22.1	—	—	—	—	22.1	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

農業・農村の有する多面的機能の発揮に努め、農業生産に必要な優良農地を営農に適した良好な状態で確保しつつ農地の有効利用を図る。

2. 土地利用区分

(第21表)

土地利用 区分	水田 (ha)	輪換 耕地 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	桑畑 (ha)	小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
現況	22.1	—	—	—	—	—	22.1	—	—	—	22.1	
計画	22.1	—	—	—	—	—	22.1	—	—	—	22.1	

3 作付方式 省略

4 生産計画 省略

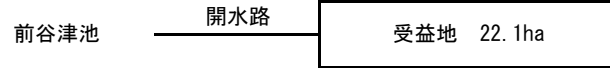
5 労働改善計画 省略

第3節 用水計画

1. 計画基準年 該当なし

2. 計画かんがい方式 開水路

3. 計画用水系統



(1) かんがい用水

(第22表)

項目 系統名	種別	面積 (ha) 事業名			水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費水量 (m3/s)	損失率 (%)	粗用水量		備考
		計	普通期 計画平均 単位 用水量 (mm/日)	代かき期 計画代 かき単 位 用水量 (mm/日)	面積 (ha)	1日当 計画平 均かん 水深 (mm/日)	平均 間断 日数 (日)	面積 (ha)	1日当 計画平 均かん 水深 (mm/日)	平均 間断 日数 (日)	面積 (ha)	計画平 均単 位 用水量 (mm/日)	面積 (ha)	平	最					
																		均	大	
前谷津池	農業用水	22.1	—	22.1	—	—	22.1	—	—	—	—	—	—	—	—	0.145	15	—	0.171	

4. 水源計画

(1) 水利用計画

(第23表)

項目 区分	消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能量			不足量		水源依存量		損失率
					水源名	取水地点 利用可能量	ほ場 利用可能量	純用水量	全不足水量	水源名	水量	
ため池	0.145	—	0.145	0.171	前谷津池	0.171	0.171	—	—	前谷津池	0.171	15%

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

(第24表)

項目 貯水池名	流域面積(km ²)		かんがい面積 (ha)			有効貯水量 (千m ³)	利用貯水量 (千m ³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m ³ /s)	備考
	直接	間接	事業名							
			農業用ため池		計					
前谷津池	0.237	—	22.1	—	22.1	43.2	43.2	かんがい期	0.171	

第4節	排水計画	該当なし
第5節	道路計画	該当なし
第6節	農用地造成計画	該当なし
第7節	洪水調節計画	該当なし
第8節	干拓計画	該当なし
第9節	農用地整備計画	該当なし

第10節 ため池改修計画

1. 堤体補強計画

(ア)のり面保護施設	堤体上流	布製型枠工
	堤体下流	張芝工
(イ)補強盛土工	堤体上流	改良土による盛土工
	堤体下流	改良土による盛土工+現況堤体地盤改良工
(ウ)基礎処理工	堤体上流	該当なし
	堤体下流	該当なし

2. 取水施設改修計画

取水工

縦 樋	取水孔φ300 1孔
斜 樋	緊急放流孔φ350 1孔
底 樋	底樋φ800 (ヒューム管)

3. 洪水吐改修計画

洪水吐	正面越流堰型式 越流幅B=5.4m 鉄筋コンクリート造
洪水吐下流水路	放水路 : H=1.637~3.100m、B=2.200m 減勢工 : H=3.100m、B=2.200m

(1) 計画基準雨量

(第25表)

計画降雨	観測機関名	熊谷地方気象台	
	観測基準雨量	207.6 mm/hr (N=1/200) 有効降雨	洪水到達時間 t=21.7分
	計画根拠	本地区は、実測時間雨量データが得られるので、このデータを確率処理（岩井法）して算定した。（昭和元年～令和4年）	

(2) 計画洪水量

(第26表)

集水面積	直接	23.70 ha	合計 23.70 ha
	間接	0.00 ha	
計画洪水量	計算式	$Q_p = 1/3.6 \times r_e \times A$ (200年確率ピーク洪水量)	流域面積/貯水面積=23.7ha/0.94ha=25.21<30 よりため池の貯留効果を考慮できる。
	流出率	$f_p = 0.49$	
	洪水量	$Q_p = 1/3.6 \times 101.72 \times 0.237 = 6.697 \text{ m}^3/\text{s}$	
	設計洪水量	$Q_o = 1.2 \times Q_p = 8.036 \text{ m}^3/\text{s}$	
	貯留効果考慮後	$Q = 4.72 \text{ m}^3/\text{s}$	

4. 管理施設改修計画

該当なし

第5章 主要工事計画

第1節	用水施設	該当なし
第2節	排水施設	該当なし
第3節	道路及び索道	該当なし
第4節	農用地造成	該当なし
第5節	洪水調節施設	該当なし
第6節	干拓施設	該当なし
第7節	農用地整備施設	該当なし

第8節 ため池改修施設

1. 貯水池

(第27表)

名称	前谷津池				位置	大里郡寄居町大字用土地内		
	形式	流域 (km ²)	堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (千m ³)	堤頂幅 (m)	貯水量 (千m ³)	備考
堤体	均一型	0.237	10.6	198.0	17,479.0	4.2	43.2	
取水施設	形式	取水量 (m ³ /s)	斜樋口径 (mm)	底樋口径 (mm)	備考			
	豎樋	0.171	300	800	※緊急放流孔φ350新設			
洪水吐	形式	洪水量 (m ³ /s)	規模 (m)	備考				
	正面越流堰式	4.72	5.40					

2. 堤体補強施設

(1) 法面保護施設

- ・堤体上流側 ……………布製型枠
- ・堤体下流側 ……………張芝工

(2) 補強盛土工

- ・堤体上流側 ……………改良土による盛土工
- ・堤体下流側 ……………改良土による盛土工+現況堤体地盤改良工

(3) 基礎処理工

- ・堤体上流側 ……………該当なし
- ・堤体下流側 ……………該当なし

第6章 附帯工事計画 該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

着手予定 令和8年度

完了予定 令和11年度

第8章 環境との調和への配慮

第1節 環境配慮する地域の状況

本地区は、寄居町田園環境整備マスタープラン（令和7年改訂）において、「環境配慮区域」に位置付けられている。

1. 広域的な環境特性

秩父山地と関東平野との接点に位置することから、南西部に山地、北東部に平野及びその中間地点に丘陵地が広がっている。また、荒川及び荒川水系に属する河川その他、利根川水系に属する藤治川など多数の川が貫流している。

2. 地域の状況

荒川沿いの水田、畑地帯である。前谷津池上流には円良田湖が位置するなど緑豊かであり、豊かな自然環境に恵まれている。

第2節 環境配慮目標及び基本的な考え方

前谷津池地区は環境配慮区域に位置しており、工事を実施するにあたり、周知広報を経て地域住民の同意を得る過程において、新たに工事の影響緩和や自然と共生する環境の創造についての検討を行い、環境に配慮した工事を実施する。環境との調和に配慮し、計画や施工方法の検討を十分に行い、低騒音機械の採用を始め、その他自然との共生可能な農業農村整備事業を目指すものとする。

第3節 環境配慮の整備内容

1. 工事に際しては、工事時の環境への負荷を回避する為に、汚濁水や工事土砂が水路や河川に流入しない対策を徹底する。また、非かんがい期に工事を行うなどにより工事時の汚濁水の発生を抑えることができる。
2. 工事にあたっては、早朝、夜間の工事は行わない。
3. 工事車両は騒音対策、振動対策、排気ガス対策のされた機種を導入して周囲への配慮を徹底する。
4. 天然記念物ほか希少生物が確認されているエリアではないが、工事中必要に応じて、一時的に動植物を捕獲、移動して、生息・生育空間の確保に努める。

第9章 換地計画の概要

該当なし

第10章 事業費の総額及び内訳

(第28表)

事業名 区分	農村地域防災減災事業 (防災重点農業用ため池緊急整備事業)						備 考
	数	量	金 額				
堤体工	1	式	161,000 千円				消費税10%を含む
洪水吐工	1	式	29,000 千円				
取水設備工	1	式	133,000 千円				
附帯工	1	式	4,000 千円				
仮設工	1	式	85,000 千円				
小計			412,000 千円				
測量試験費	1	式	19,400 千円				
用地補償費	1	式	600 千円				
計			432,000 千円				
合計(丸め)			432,000 千円				
工事雑費	1	式	9,100 千円				
地方事務費	1	式	21,900 千円				
合計			463,000 千円				
合計(丸め)			463,000 千円				
(関連事業) 参考)			—				該当なし
			—				
			—				
			—				
	計		—				

第11章 効 用

(第29表)

区 分	項 目	年総効果(便益)額 (千円)	現況年総農業所得額 (千円)	年増加農業所得額 (千円)	備 考
	食料の安定供給の確保に関する効果	△ 52	—	—	維持管理費節減効果
	農業の持続的発展に関する効果	38,160	—	—	災害防止効果（農業関係資産）
	農村の振興に関する効果	6,044	—	—	災害防止効果（一般資産）
	多面的機能の発揮に関する効果	1,465	—	—	災害防止効果（公共資産）
	計	45,617	—	—	

総費用便益比＝総便益額(現在価値化)÷総費用(現在価値化)＝937,371千円÷351,410千円＝2.66 ≥1.0

第12章 関連する事業

該当なし

第13章 現況・計画図面

別紙添付のとおり

土地改良事業計画等調査（農業基盤整備事業調査）
 前谷津池地区
 7 前谷設第 1 号 ため池整備事業計画策定業務委託

図 面 目 録

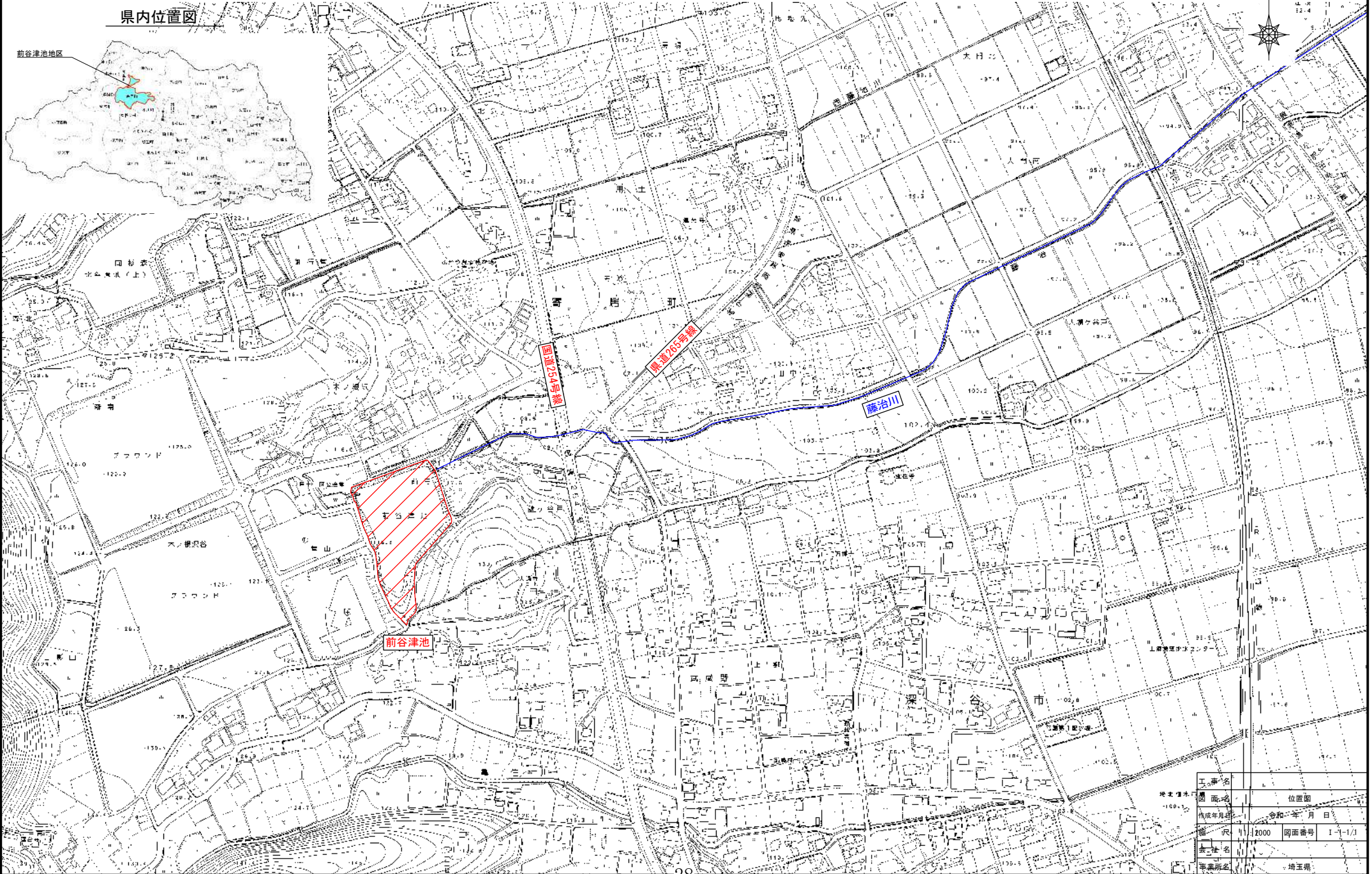
図面番号	図 面 の 名 称	枚数	備考
	【堤体工】		
I-1	位置図	1	
I-2	計画平面図	1	
I-3	堤体縦断面図	1	
I-4	堤体標準断面図	2	
I-5	堤体附帯工計画図	1	
I-7	堤体土工区分図	2	
II-1	洪水吐計画図	1	
計		9	

位置図

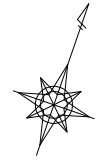
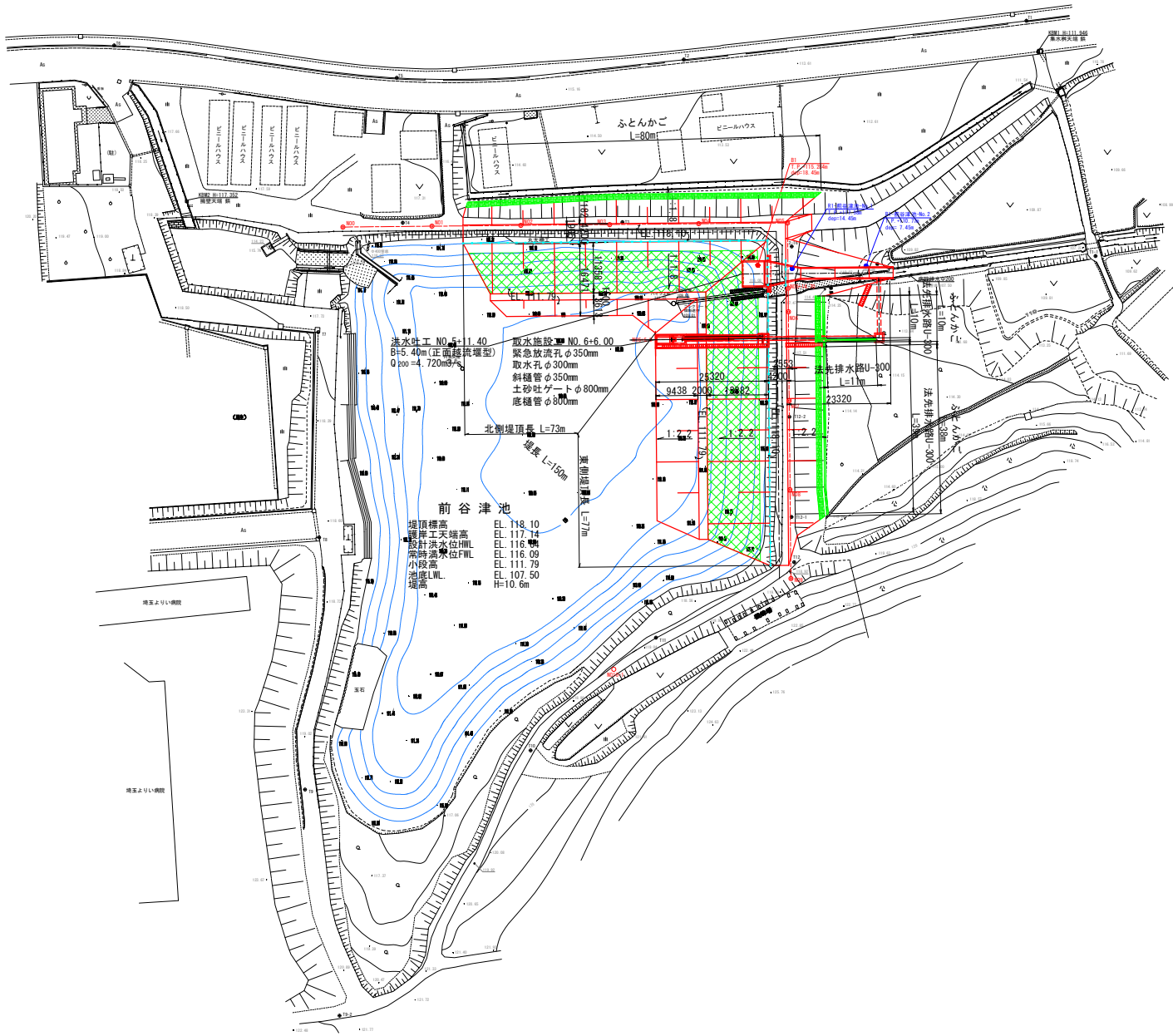
S=1:2000

県内位置図

前谷津池地区



工事名	位置図
図面名	位置図
作成年月日	令和6年 月 日
縮尺	1:2000 図面番号 1-1/1
表紙名	
事業所名	埼玉県



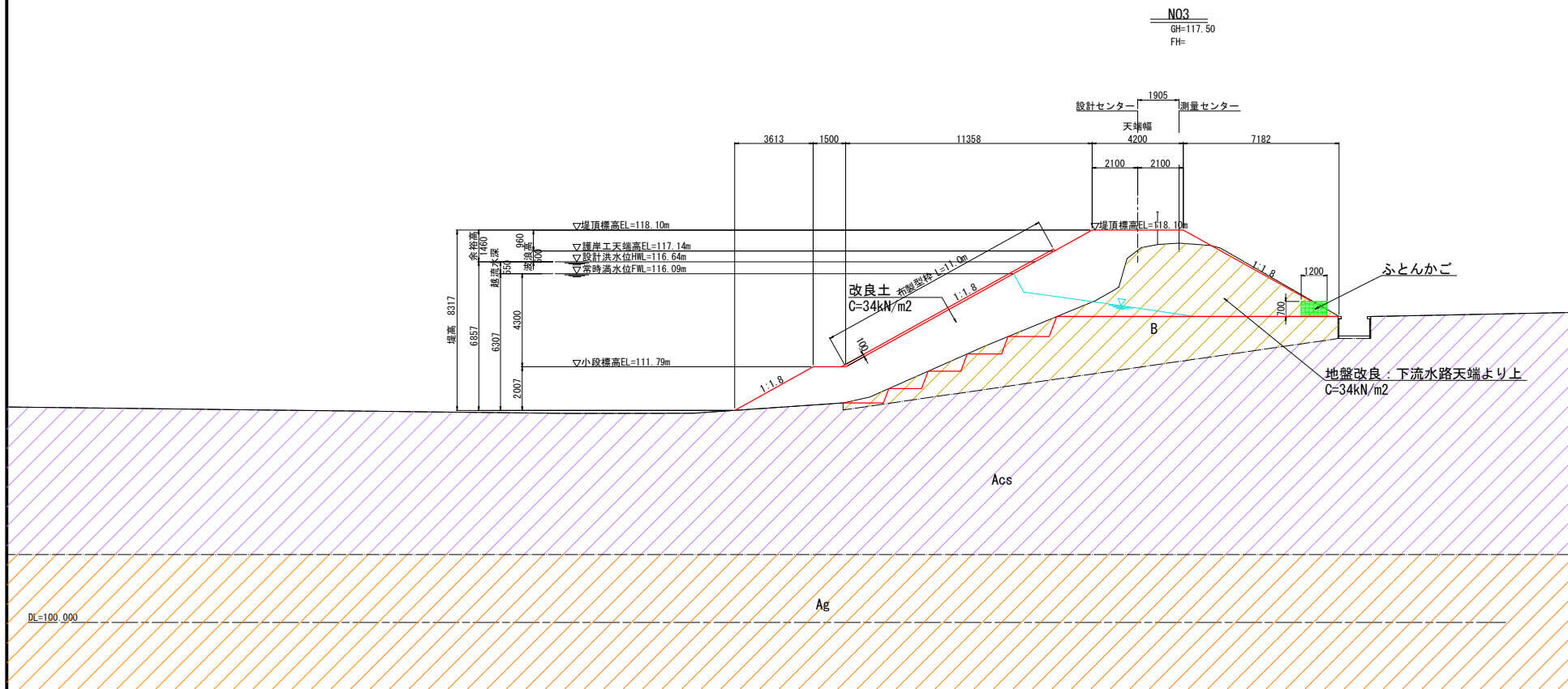
工事名			
図面名	計画平面図		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮尺	1:500	図面番号	I-2-1/1
会社名			
事業所名	埼玉県		

堤体標準断面図(2/2)

縮尺=1:100

凡例

	堤体盛土
	粘性土
	砂質土
	礫質土
	地層境界線



土質定数一覧

地層名	記号	代表 N値	単位体積重量 kN/m ³	有効応力	
				粘着力 kN/m ²	せん断抵抗角 °
盛土層	B	3.1	19	5.0	23.0
沖積粘性土層	Ac	3.0	19	5.0	23.0
沖積砂質土層	Acs	8.7	19	0.0	31.0
沖積礫質土層	Ag	19.7	18	0.0	35.0

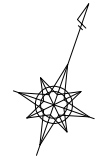
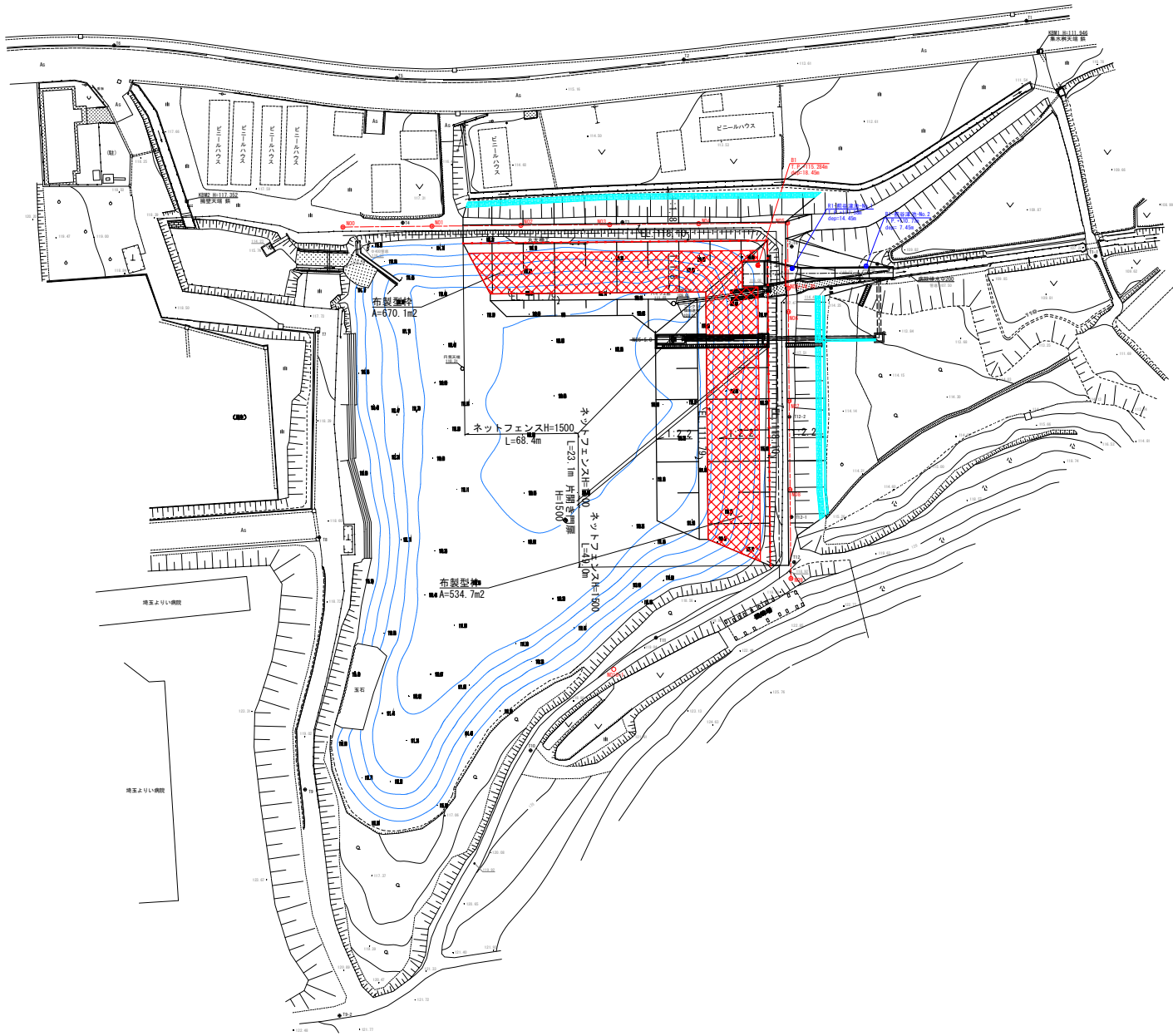
※土質定数は「5前谷地第1号ため池地質調査業務委託 報告書(R5.12)」の調査、試験結果による

工事名			
図面名	堤体標準断面図(2/2)		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮尺	1:100	図面番号	1-4-2/2
会社名			
事業所名	埼玉県		

堤体附帯工計画図

大里郡寄居町大字用土宇堂山

縮尺=1:500

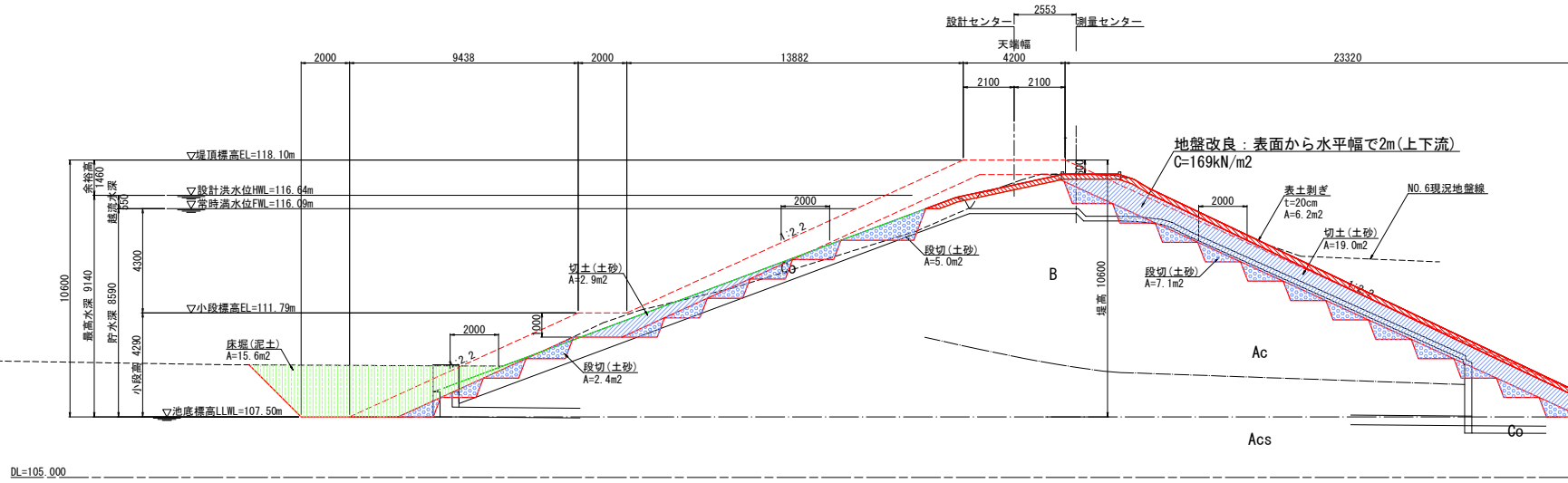


工事名			
図面名	堤体附帯工計画図		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮尺	1:500	図面番号	I-5-1/1
会社名			
事業所名	埼玉県		

堤体土工区分図(1/2)

掘削 縮尺=1:100
 N05+14.70
 GH=117.51
 FH=

名称	数量
表土剥ぎ(t=20cm)	6.2 m2
床掘(泥土)	15.6 m2
床掘(土砂)	- m2
切土(土砂)	19.0 m2
段切(土砂)	14.5 m2
地盤整形(水平部)	- m
地盤整形(法面部)	- m
切土法面仕上げ	- m

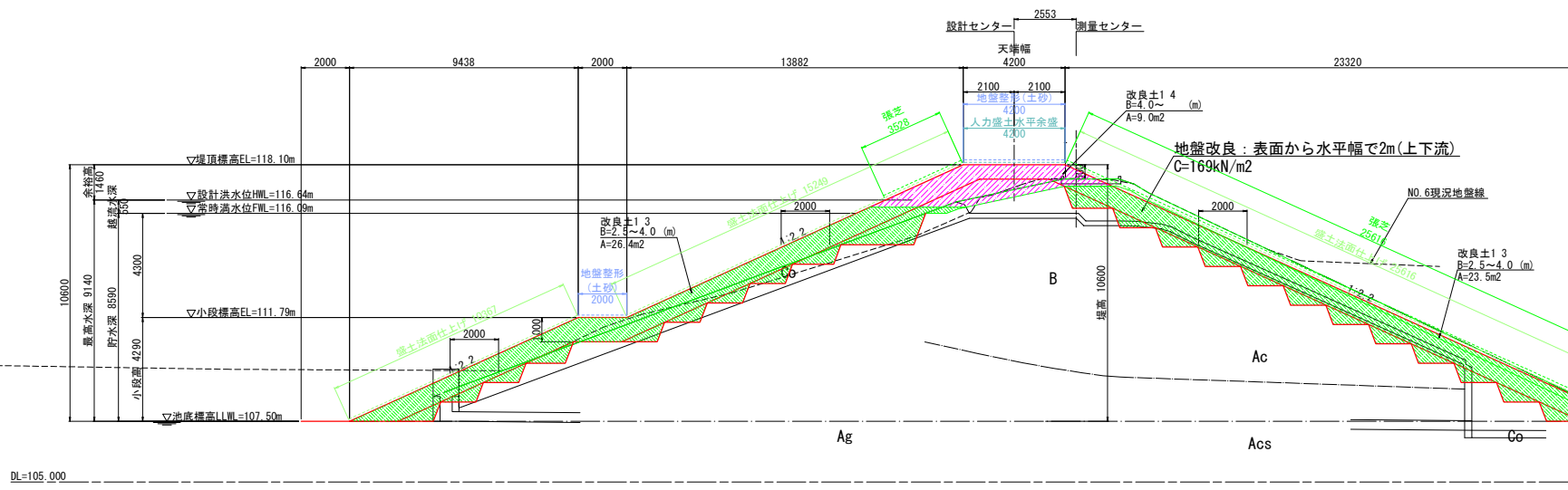


DL=105.000

盛土

N05+14.70
 GH=117.51
 FH=

名称	数量
改良土1.1 B= ~1.0 (m)	- m2
改良土1.2 B=1.0~2.5 (m)	- m2
改良土1.3 B=2.5~4.0 (m)	49.9 m2
改良土1.4 B=4.0~ (m)	9.0 m2
盛土法面仕上げ上流	25.6 m
盛土法面仕上げ下流	25.6 m
地盤整形(土砂)	6.2 m
人力盛土水平余盛	4.2 m
張芝上流	3.5 m
張芝下流	25.6 m

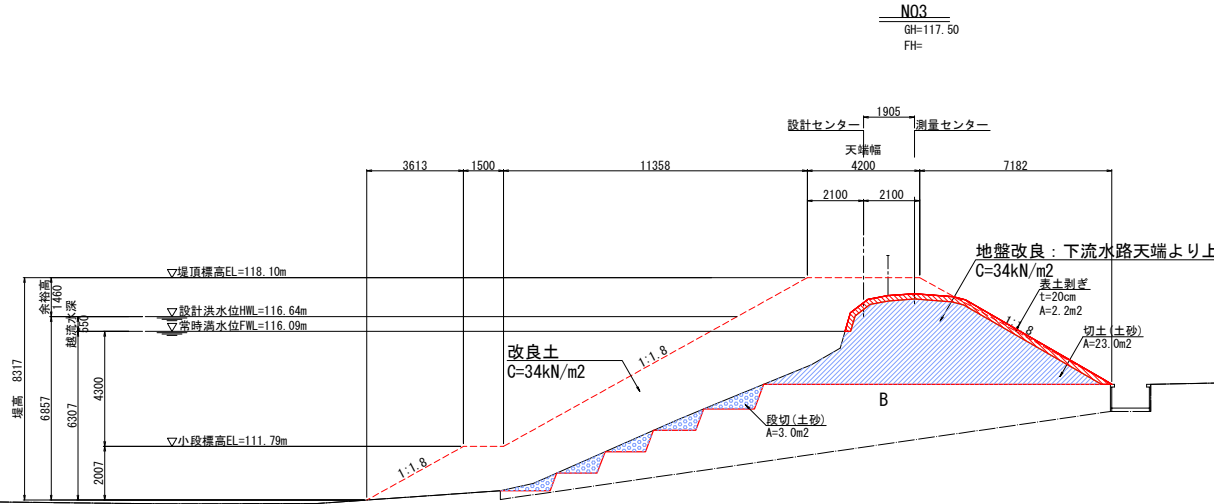


DL=105.000

工事名	
図面名	堤体土工区分図(1/2)
作成年月日	令和 年 月 日
縮尺	1:100 図面番号 1-7-1/2
会社名	
事業所名	埼玉県

堤体土工区分図(2/2)

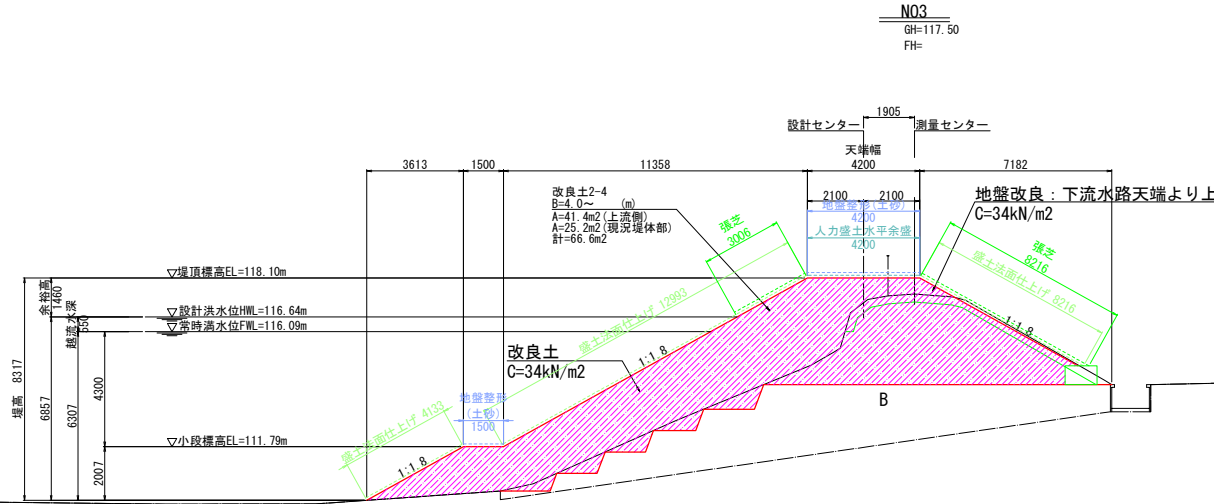
掘削 縮尺=1:100



名称	数量
表土剥ぎ(t=20cm)	2.2 m2
床掘(泥土)	- m2
床掘(土砂)	- m2
切土(土砂)	23.0 m2
段切(土砂)	3.0 m2
地盤整形(水平部)	- m
地盤整形(法面部)	- m
切土法面仕上げ	- m

DL=105.000

盛土



名称	数量
改良土2.1 B= ~1.0 (m)	- m2
改良土2.2 B=1.0~2.5 (m)	- m2
改良土2.3 B=2.5~4.0 (m)	- m2
改良土2.4 B=4.0~ (m)	66.6 m2
盛土法面仕上げ上流	17.1 m
盛土法面仕上げ下流	8.2 m
地盤整形(土砂)	5.7 m
人力盛土水平余盛	4.2 m
張芝上流	3.0 m
張芝下流	8.2 m

DL=105.000

工事名	
図面名	堤体土工区分図(2/2)
作成年月日	令和 年 月 日
縮尺	1:100 図面番号 1-7-2/2
会社名	
事業所名	埼玉県

洪水吐計画図

S=1:200

